

# 「RESAS “リーサス” を見てみよう。」

自分たちの住む“まち”のを知ることができる。  
みんなが見れるビッグデータ。

## RESAS（リーサス）—地域経済分析システムとは？

まち・ひと・しごと創生本部事務局では、これまで経済産業省が開発を行ってきた「地域経済分析システム」、いわゆる「ビッグデータを活用した地域経済の見える化システム」を、経済分野に限らず様々なデータを搭載することで、地方自治体の様々な取組みを情報面から支援できるようなシステムへと再構築したもので、効果的な立案、実行、検証（PDCA）を支援することを目的としてできたものである。

地方創生へ。  
ビッグデータを活用した  
地域経済の可視化システム

Regional  
Economy (and)  
Society  
Analyzing  
System



### RESAS より 得られる効果

2

#### ベンチマーク 比較

立ち位置の確認、他の自治体と比較

全国平均や他の自治体と比べ、自らの「立ち位置（ランキング）」を確認できる。また、講じた施策の効果を時系列で追いかけることも可能。他の自治体と比較することができる。

4

#### スピード

施策のPDCAサイクルの加速化

自治体が講じた施策の効果をより短期間で把握すること（政策評価）ができるため、施策のPDCAサイクルをより加速化することで、より効果的かつ効果的な政策立案につながる。

1

#### 中立性・客観性

データに基づく政策意思決定

経験や勘に基づく、旧来型の意思決定システムから、データや「見える化」された企業間取引等に基づく、より客観的・中立的な政策意思決定システムへの転換が促進される。

3

#### 重点化 効果的支援

「地域中核企業」の候補企業の抽出

地域経済を支える「地域中核企業」の候補企業を、自治体の判断基準で自由に抽出することができる。これにより、より効果的かつ効果的な政策資源の投入が可能となる。

5

#### ギャップ

現状と施策のギャップの把握

国・都道府県・市町村の施策を一覧でできる「施策マップ」と一緒に見ること、地域経済の現状と自治体が講じている施策の「ギャップ」を把握できる。

## RESAS の構成

産業マップ	全産業火花図・産業別火花図・企業別火花図 稼働力分析・特許分布図・輸出入火花図 海外への企業進出動向
地域経済循環マップ	地域経済循環図・生産分析・分配分析・支出分析
農林水産業マップ	農業火花図・農産物販売金額・農地分析 農業者分析・林業総収入
観光マップ	From-to分析・潜在人口率・メッシュ分析 目的地分析・外国人訪問分析・外国人滞在分析 外国人メッシュ分析・外国人消費火花図 外国人消費分析
人口マップ	人口構成・人口増減・人口の自然増減 人口の社会増減・将来人口推計
自治体比較マップ	(経済構造) 企業数・事業所数・従業者数・製造品出荷額等 年間商品販売額・付加価値額・労働生産性 (企業活動) 創業比率・黒字赤字企業比率・経営者平均年齢 (労働環境) 有効求人倍率・一人当たり賃金 (地方財政) 一人当たり地方税・一人当たり市町村民税法人分 一人当たり固定資産税

※1 国及び地方自治体の職員の「限定メニュー」

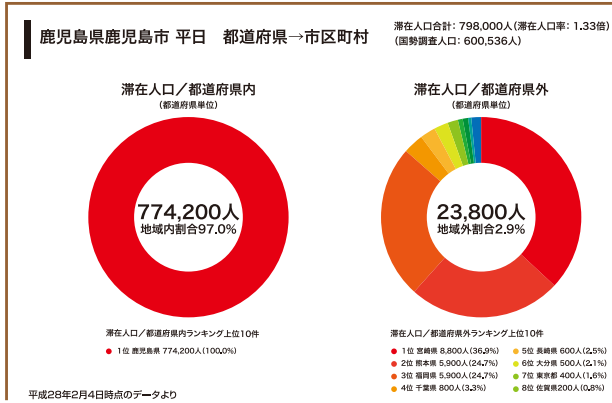
※2 2016年4月を目処に公開を予定。

# RESAS できること。

RESAS は、地方自治体の政策立案を支援するためのものであるが、自分の住む“まち”のことを客観的に見る・知ることができる。  
RESAS をきっかけに、自分の“まち”について考えてみてはどうだろうか。

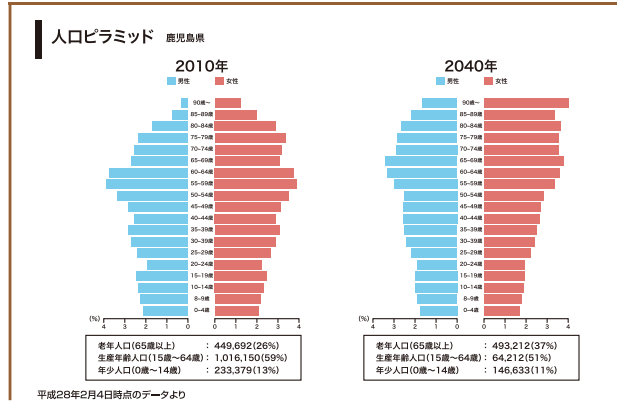
## ■ 鹿児島の観光人口 MAP 【From-to 分析】

鹿児島市へ観光客がどこから来るのかをあらわしたもの。九州からの観光が多いことがわかる。九州以外では千葉、東京、兵庫。他にも海外からの観光客のデータもある。アジアが多い。実際こうしたデータで見るとわかりやすく、新しい発見もある。



## ■ 人口マップ【人口構成 / 人口ピラミッド】

鹿児島県の人口ピラミッド。少子高齢と言われているが、2040年の人口ピラミッドを見ると顕著に現れる予想。生産年齢人口も大きく減る。こういった可視化されたデータを元に、各世代に応じた対策を同時に進める必要があるだろう。



RESAS は、直感的・視覚的に操作が可能で、分かりやすく構成されている。様々なデータから自分たちの“まち”を見てみよう。

# RESAS の動き。

地域における新しい動きも。企業や個人が RESAS を活用して分析を行なう動きも活発化。まち・ひと・しごと創生本部では、ワークショップの開催余力を入れている。

## ■ 地方創生☆政策アイデアコンテスト

平成 27 年 12 月 13 日 (日) に開催された「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2015」において鹿児島県伊佐市の大口明光学園高等学校の「“そん出会い、牛さあつなぎもす”プロジェクト」が優秀賞を獲得。若い世代にもこうした客観的データを見ることで自分のまちの現状と課題を認識しやすく、またそのための解決策を考えるという動きが出てきている。



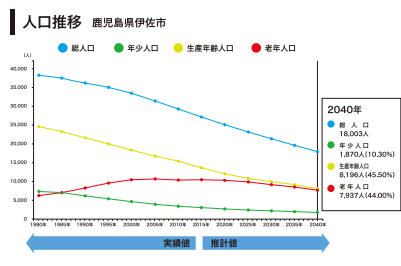
優秀賞受賞 大口明光学園高等学校 チーム高2B

### 「“そん出会い、牛さあつなぎもす”プロジェクト」【概要】

#### 伊佐市を元気にしたい!

伊佐市の現状を調査。深刻な少子・高齢・過疎化が進んでいた。

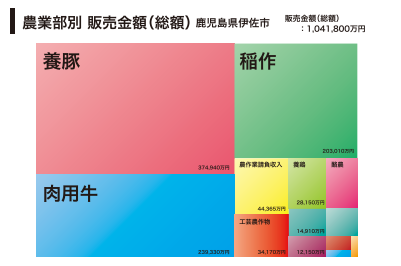
伊佐市の特産品は米。特産品で活性化できないか?



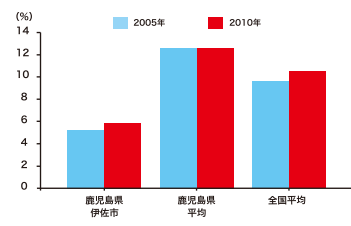
#### イメージと違った!

伊佐市の農業収益は、40%が養豚。次いで肉用牛24%、稲作20%。

事業可能性を探る。  
 ○養豚—新規経営は困難  
 ○子牛の生産—養豚より収益性等有益性が高い。

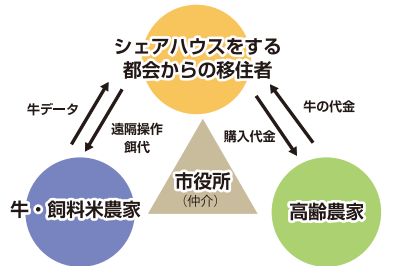


#### 耕作放棄地率 指定地域: 鹿児島県伊佐市



#### 経営者資本の引き継ぎ。

肉用牛繁殖経営農家は、高齢化が進み後継者不足も問題。  
 事業承継—後継者の確保  
 伊佐市は、耕作放棄地も年々増加傾向。経営農家の高齢化、後継者不足も共に解決できないだろうか?



#### ICT(遠隔地管理システム)を利用したプロジェクト

ICTを利用することによって、畜産放牧の負担やマイナスイメージを軽減し従事者の増加を図る。  
 伊佐市の主要産業の維持と発展、後継者問題、耕作放棄地の有効利用空き家を利用したシェアハウスにて「ターン」による人口増加等問題解決に取り組むプロジェクト。

詳細は、<http://expo.nikkeibp.co.jp/bdc/resas/contest2015> (コンテスト公式サイト)